

富山県

富山県の環境政策について —環境先端県を目指して—

富山県は、「名水百選」に全国最多の8件が選定されるなど、豊かな水と緑に恵まれ、素晴らしい環境を誇っていますが、過去には



平成の名水百選「不動滝の霊水」

数々の公害が問題となった時期があり、それらを克服してきた歴史があります。こうした環境のもと、本県では、全国に先駆けた環境保全の取り組みを数多く実施しています。

一つには、「森づくり条例」を制定し、新たに「水と緑の森づくり税」を導入するなど、県民総参加で豊かな森づくりを先駆的に進めています。また、こうした先端的な取り組みが認められ、日本で初めて国際水文地質学会が、世界55カ国約500人の専門家を迎え本県で開催され、同学会の「富山宣言」で本県の地下水保全や立山砂防が国際的に高い評価をいただいています。

また、平成20年4月から全国で初めて、県内全域でレジ袋の無料配布を廃止しており、マイバッグ持参率は92%と高い水準となっています。県民の真摯な取り組みは、全国的に注目され、本県に続き9県で実施されるなど全国にも広がり、今年の本県の先端的な取り組みを全国に発信するフォーラムを環境省と共同し

て開催することとしています。

地球温暖化対策については、中小企業の省エネを促進する「省エネ鑑定団」の実施、エコドライブ講習会やコンテストの開催、県営では全国2番目となる農業用水を利用した小水力発電所の建設、ソーラー船の運航、公用電気自動車の率先導入など、幅広い分野で実効性のある取り組みを充実しています。

国際環境協力では、平成19年に日中韓三カ国環境大臣会合が地方都市では初めて富山で開催されましたが、この会合に併せ、北東アジア環境パートナーズフォーラムを開催、国際協力の具体策を盛り込んだ「とやま宣言」を採択し、3カ国の大臣から高く評価されました。この宣言に基づき、黄砂の広域モニタリング(5カ国11自治体が参加)や環境体験プログラム(4カ国8自治体から約100名の中高生が参加)などに取り組んでいます。



環境体験プログラム(油の除去活動)

今後とも、環日本海地域をリードする「環境先端県」を目指して、県民と力を合わせて各種施策に取り組んでいきます。

富山県生活環境文化部環境政策課 ☎076-444-3141

富山市

コンパクトシティ戦略によるCO₂削減計画

富山市は、2008年7月に内閣府から「環境モデル都市」に選定されたことを受けて、『公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり』を基本方針とする、地球温暖化防止に向けた各種施策のロードマップ等、CO₂排出量を大幅に削減するための「富山市環境モデル都市行動計画」を策定しています。

この計画では、「公共交通の活性化の推進」「中心市街地や公共交通沿線への機能集積の推進」「コンパクトなまちづくりと一体となったエコライフの推進」「コンパクトなまちづくりと一体となったエコ企業活動の推進」の4つの取り組みの方針を掲げ、富山市全体のCO₂排出量を基準年(2005年)比で、2030年に30%、2050年に50%削減することを目指しています。



市内路面電車の環状線化(イメージ)

本計画に基づく主な取り組みでは、公共交通の活性化の推進として、市内路面電車の環状線化を行います。公共交通の利便性と魅力を高めることにより、公共交通の利用促進を図ります。

また、中心市街地や公共交通沿線への機能集積の推進を図るため、まちなか・公共交通沿線居住推進事業

を実施し、対象地域において住宅の取得等に対する支援を行います。

さらに、会員自動貸し出し型のコミュニティサイクルを導入し中心市街地における回遊性を強化するとともに、自動車利用から自転車や徒歩へ移動手段の転換を促す等、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を推進します。

昨年6月に立ち上げた、市民や企業が自主的に創意工夫型の温暖化防止行動と、その目標を掲げる「チーム富山市」の取り組みを継続・推進し、官民一体となった総参加型のCO₂削減行動を行います。



「チーム富山市」のキックオフイベント

今後、富山市では、各種取り組みの進捗状況等について適切にフォローアップを行いながら、この行動計画を着実に実施していきます。

なお、計画の本文は富山市ホームページにおいて閲覧ができます。

<http://www.city.toyama.toyama.jp/division/>

[kankyoku/kankyouseisaku/index.htm](http://www.city.toyama.toyama.jp/division/kankyoku/kankyouseisaku/index.htm)

富山市環境部環境政策課 ☎076-443-2053